

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第128号(2017. 11. 1)
事務局 川西地区自主防災会

～ 川西自主ぼうの1年 ～

今月は事務局を担当しています、川西地区自主防災会の1年間の取組みをご紹介します。設立当初から4年から5年間は、いかにして、この自主防災活動を継続させていくかについて、頭を悩ませておりましたが、現在の川西自主ぼうは次の世代にどのようなカタチでつないでいくかが大きな課題であると思っています。



川西地区自主防災会
会長 岩崎 正朔

それでは川西自主ぼうの1年を紹介します。

1月

- ◎ 4日(水) 防災用無線機(親局から子機への相互呼出し試験)
- ◎ 19日(木) 地元 城辰幼稚園 防災研修
 - ・親子によるダンボールパーテーション組立(避難所設営)
 - ・親子による紙食器作り
- ◎ 28日(土) 川西地区全域夜間避難訓練
 - ・地区内6カ所の避難所への訓練
 - ・参加者600名(非常用持出袋持参者85名含む)



2月

- ◎ 1日(水) 防災用無線機呼出し試験
- ◎ 22日(水) 地元 城辰小学校5年生児童 防災研修
 - ・パーテーションによる避難所設営
 - ・設営後の受付業務
 - ・毛布による要配慮者搬送
- ◎ 22日(水) 小豆島町キラリレディースの会(25名) 視察研修



3月

- ◎ 1日(水) 防災用無線機呼出し試験
- ◎ 24日(金) ～25日(土) 備蓄用飲料水(505ケース) 自治会へ還元

4月

- ◎ 1日（土）防災用無線機呼出し試験、ENG（発動発電機等のエンジン）関係（30台）定期運転
- ◎23日（日）第5回防災まつり（第16回地域防災訓練）
 - ・ 8:30 参加者 350名全員シェイクアウト
 - ・ 8:35～安否確認作業開始
 - ① ガレキ現場（5名）
 - ② 倒壊家屋現場（5名）
 - ③ 家具転倒現場（5名）
 - ④ ブロック塀倒壊現場（8名）
 - ・ 9:00～救出班（4班×5人）
救助活動開始
 - ・ 9:10～女性救護班（5名）救護所の
設営とケガ人等の1次措置
 - ・ 9:20～避難所設営班出動
 - ① ダンボールパーテーション、
マット、毛布、生活用品（10名）
 - ② 生活水の確保（5名）
 - ③ 給電関係（5名）
 - ④ 給食関係（8名）
 - ・ 9:40～消化班出動＜消火訓練＞
 - ① 消火器による消火活動（訓練）
 - ② 油火災発見による消火活動（訓練）
 - ・ 10:00～ 130名によってプールから体育館、トイレまで生活水
確保のためバケツリレーによる給水訓練



5月

- ◎ 1日（月）防災用無線機呼出し試験
- ◎ 2日（火）城辰小学校6年生児童
防災訓練
 - ・ 車イスによる要配慮者搬送
 - ・ パーテーションによる避難所設営
 - ・ バケツリレーによる生活水確保
 - ・ 土のう作成と土のう積み方
- ◎27日（土）備蓄用飲料水購入
（600ケース）の搬入作業
＜企業等の備蓄倉庫へ＞



6月

- ◎ 1日（木）防災用無線機呼出し試験
- ◎ 28日（水）「災害用トイレ」地元城辰小学校へ設置（竣工式）
午前10時より、市長、教育長、工事関係者を招いての竣工式
児童代表による謝辞に感激
- ◎ 30日（金）ENG関係（30台）定期運転



7月

- ◎ 1日（土）防災用無線機呼出し試験
- ◎ 8日（土）愛媛県西条市より自治会役員等の視察研修
- ◎ 9日（日）備蓄用飲料水（575ケース）自治会へ還元
- ◎ 30日（日）要配慮者の支援者研修（85名参加）
 - ・高齢化社会での福祉のまちづくり（土佐町社会福祉協議会事務局長講師）
 - ・要配慮者を支援する車イスの活用（丸亀市社会福祉協議会講師）



8月

- ◎ 1日（火）防災用無線機呼出し試験

9月

- ◎ 1日（金）防災用無線機呼出し試験
- ◎ 9日（土）フジグラン丸亀店防災訓練
 - ・ 8:00~8:45 フジグラン丸亀店従業員の訓練（参加者50名）
 - ・ 9:45~10:10 来店中のお客様を巻き込んでのシェイクアウト訓練と、店外への避難訓練、店内火災による消火訓練、更にはケガ人（2名）の搬出訓練
- ◎ 23日（土）福祉フェスティバル会場で「イザカエルキャラバン in まるがめ」の防災コーナーを担当（水消火器、ジャッキアップゲーム、毛布による担架作成、紙による食器作り）
- ◎ 26日（火）地元城辰小学校通学路安心安全マップ作り<通学路9コース、ブロック診断士も交えウォッチングとマップづくり>
- ◎ 30日（土）大型発電機（25KVA）による「コイン式精米機」の運転試験



- ・大災害時に必ず発生する商用電源断をふまえ、「たきだし」に欠かせない玄米から白米化の試験を大型発電機を使い実施。60kgの玄米を白米化した。

◎30日（土）ENG関係（30台）定期運転



10月

◎1日（日）防災用無線機呼出し試験

◎6日（金）岡山県真庭市議会（11名）
視察研修

◎10日（火）地元中学校へ避難所用備品（ダンボールパーテーション144枚、床マット100枚）を納入
東かがわ市の工場からレンタカーで搬送

◎16日（月）大阪八屋市議会視察研修

11月

◎1日（水）防災用無線機呼出し試験

◎1日（水）県民いっせいシェイクアウト訓練に参加

◎6日（月）愛知県常滑市議会視察研修

◎17日（金）岐阜県可児市 視察研修

12月

◎1日（金）防災用無線機呼出し試験、ENG関係（30台）定期運転

◎2日（土）18号、21号台風接近時に使用した土のう（袋）の補充として、土のう250個の新規作成と土のう袋の劣化による取替200個の作業を実施する。＜15～20名の職員と軽トラック4台参加予定。その後、チャンコ鍋パーティを開催します＞

◎あしがき

11月、12月はあくまで予定線表として紹介させていただきました。

右余曲折を重ねながら丸16年歩んできましたが、振りかえってみると、設立から5～6年が厳しい時代で、罵声をあびせられた事もありましたが、何事にも10年の歳月が必要でないかと思っています。

この数年、防災と同じ位、エネルギーをかけています、自治会加入促進活動も同様、現在6年目の胸つき八丁にかかっていますが、10年実行して正否を問うてみたいと思っています。何事にも愚直に取組む実行と具現化が求められているのでないかと思っています。

岩崎正朔

県民いっせい避難行動のプラスワン訓練

県民いっせい避難行動のプラスワン訓練をしよう！ということで9月から10月にかけて県内の福祉施設15カ所位、訪問させていただきました。

11月1日のシェイクアウトより早く訓練を行ってきた亀市塩屋町にあり海拔1M未満という立地の「トマト園」での活動状況をお知らせします。

山地施設長さんをはじめ、皆さん笑顔がステキでした。

時期的に（10月18日）雨続きでしたが、この日に限ってうす曇りという天候にも恵まれました。

<当日のスケジュール>

- ①12時35分～ 訓練後のお楽しみ豚汁の食材調理
- ②13時00分～ トマト園全員シェイクアウト訓練その後、屋外駐車場への避難訓練
- ③13時15分～ かがわ自主ぼう女性チームによる「AED」を使用しての心肺蘇生訓練
- ④13時45分～ 全員休憩
- ⑤13時55分～ 訓練再開 女性チームによって、応急手当訓練
- ⑥14時25分～ 駐車場でマキを使って煮こんでいた豚汁（100人前）がよい香りで完成。全員笑顔で“ゴチソウサマ”

とにかく皆さんから喜んでいただき、来年の再会（訓練）を約束して、帰ってきました。誠に気持ちよい訓練でした。



編集後記

今月の防災減災の輪は、川西自主ぼうの一年を岩崎会長の原稿で掲載させていただきました。ありがとうございました。